

# 小学校外国語



## 1 単元における学習評価の進め方

単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

評価の進め方	1	単元の目標を作成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①、②については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。</li> </ul>
	2	単元の評価規準を作成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>③については、①、②を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。</li> <li>どのような評価資料を基に、「おおね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。</li> </ul>
	3	「指導と評価の計画」を作成する	
	授業を行う		<ul style="list-style-type: none"> <li>③に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。</li> </ul>
	4	観点ごとに総括する	<ul style="list-style-type: none"> <li>④については集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行う。</li> </ul>

## 2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法

【小学校学習指導要領 外国語 目標】「学びに向かう力、人間性等」

### 第1 目標

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【小学校学習指導要領 英語 目標】「学びに向かう力、人間性等」

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

【小学校学習指導要領の「領域別目標」】「話すこと[やり取り]」

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
話すこと[やり取り]	ア	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。	
	イ	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。	

【内容のまとまりごとの評価規準(例)】「話すこと[やり取り]」

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、指示、依頼をしたり、それらに応じたりしている。日常生活に	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。

【単元の評価規準(例)】「話すこと[やり取り]」

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<知識>	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、「思考・判断・表現」の評価と合わせて行うので、文末以外は、ほとんど同じ表現になるんだね。



### Point1

外国語は、目標が「外国語」と「英語」に分けて示してあります。「英語」の目標に示されている、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「外国語」の目標に示す資質・能力を育成することとされています。

### Point2

「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力は、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を育成する過程を通して育成することとされています。そのため、「領域別の目標」は、三つの資質・能力に分けず、能力記述文(CAN-DOリスト形式)で書かれています。

### Point3

単元の評価規準作成で重要なのは、次の2点です。

- ① この単元では、「話すこと[やり取り]」における「思考・判断・表現」を見取るというように年間で計画を立てること
- ② 「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の評価は基本的に同じと捉えてよいということ

3 単元の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】「話すこと [やり取り]」

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。


4 単元の指導計画及び評価の具体的な場面（一部）（We Can! 1 Unit 2 「When is your birthday?」）  
 (1) ③の評価規準に基づき、「主体的に学習に取り組む態度」の評価場面や評価方法が示されている。

3 「聞くこと」・「話すこと[やり取り]」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（7時間）		評 価			
時	目標◆・活動○【】	知 技	思 判 表	態 度	評価規準（評価方法）

(中 略)

◆自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
---

(中 略)

7	【Activity 2】 p.16 ・バースデーカードの相手を探し、他者に配慮しながらカードに書かれていることについてやり取りする。	や	や	<b>「話すこと[やり取り]」の記録に残す評価</b> ◎自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察〉 ◎自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。〈行動観察〉
	 評価する際は、児童の反応やノート、ワークシート、作品等、多様な評価方法を工夫する必要があるね。			

(2) 本単元における評価場面及び方法（本単元における「聞くこと」「話すこと [やり取り]」の評価場面）

時	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1			
2			
3			
4	指導者の話を聞く		
5	(LW&T 5)		LW&T 5
6	ACT 2		
7	(ACT 2)		ACT 2

(注) LW&T 5 → Let's Watch and Think ACT 2 → Activity 2

記録の総括の時期としては、単元末、学期末、学年末等の節目が考えられるよ。評価に係る記録が複数ある場合は、次のような方法があるから参考にしなね。

- 評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合
- 評価結果のA、B、Cの数を基に総括する場合

その他にも、さまざまな方法が考えられるよ。

いずれにしても、評価の観点ごとの総括及び評定への総括の考え方や方法は、教師間で共通理解を図り、児童及び保護者に十分説明し理解を得ることが大切だね。

